

いつか花咲く日のために

平成24年1月24日
広島市立中島小学校
校長だより 第9号

子どもたちの心に種をまき、水を与え、光を与え、栄養を与え

あせらず、あわてず、あきらめず、花の咲く日を待たないと、

この題をつけました。



「未来へゆこうか」

校長室前にある「なかじま五七五」の箱に丁寧な字でこう書いてある作品が入っていました。

「自分には 未来がどうなるか わからない」

早速この五七五の作者に、この作品にはどんな気持ちが込められているのかを尋ねました。すると、

「未来のことを考えるとわくわくするんだけど……。不安もある。」という応えが返ってきました。私には、その気持ちがとてもよくわかります。何かにチャレンジする時「うまくできるかな」とか、友達をつくる時「相手は自分を受け入れてくれるかな」とか、先のことはわからないのでいろいろなことを考えるものです。

でも、心配は後回し。

わくわくする未来を掴むためには、

「夢^ゆめにむかって 勇気^ゆうきを持って 行動^{こう}どうに移しましょう。その時、感謝^かんしゃの気持ちは忘れずに」。

キーワードは、

「未来へ^ゆこうか」。

新しい年が来ました。

「中島魂 今こそ発揮」。みんなで心を合わせて、「未来へゆこうか」。

上の文章は、1月10日(火)、新年早々の学校朝会で、子どもたちに話した内容です。

手を繋ぎ 心合わせて 前進だ

縁あってこの中島小学校で共に過ごすすべての子どもたちに、今年も心残る思い出をたくさん作りたいたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。また、後になりましたが、今回の児童の安全確保について迅速に対応していただきまして、本当にありがとうございました。

なかじまっ子の感性から生まれる「なかじま 五七五」

今回で、給食を校長室で食べた子どもたちの本音(?)を詠んだ五七五の紹介は終了です。

同じ言葉が並んでいても、書き手が変わると、一味違う句に感じます。

はじめての こうちょうしつで 昼ごはん 木谷 智樹

はじめての 校長室で 昼ごはん 土佐 栄司

「どきどきの……」に続く言葉に個性が出ます。

どきどきの 校長室で 昼ご飯 堀内 春瑠

ドキドキの 給食なんて はじめてだ 武田 奈々

ドキドキの 校長室で 給食だ 畠本 梨生

伝わります、緊張感。

きんちょう 校長室で 給食は 佐野 美月

初めてだ 校長室で 給食を 岩田 亜美

校長室 きんちょうしながら 給食だ 大塚 玲那

校長室でも、給食を楽しめたんだね。

たのしいな 校長室で しょくじかい 番匠 巧

初めての 校長給食 楽しいな 尾川 舜弥

昼ごはん 校長室 おいしいな 佐々木練太

礼儀よく たべるごはんは おいしいな 藤井 玲奈

みんなの笑顔で、部屋のムードが一変します。

校長室 ランチルームに はやがわり 吉村いさな

リラックスできたんだね。

校長室 おれとともだち だけしゃべる 中島 大

いろいろな友達と食べたかったんだね。

校長室 行きたかったな 友達と 林 翔太

最初で最後になりそうですね。楽しい思い出をありがとう。

最後だな 校長室で 食べるのは 松井 隆洋

「ああ、この学校は大丈夫。」と詠み人は安心してくださっています。

「こんにちは」 明るい顔に ホットする 詠み人知らず

給食室の先生方の今時五七五です。

消防車 見るたび我が家を 振り返る 鶏内 妙美

おーさむい まちどおいしいよ もものはな 窪田 恵子

お雑煮を 娘と作る 母の味 平田紀代美

子育ては 親育てと 日々思う 竹下佳代里